



麻布幼稚園だより 12月号



令和元年11月29日 港区立麻布幼稚園 園長 藤田 智子

『 開園 85 周年を迎えて 』

園長 藤田 智子

さつま芋や柿などの収穫を楽しんだ秋から、季節はいよいよ冬へ。

今年も残すところあと1か月となりました。麻布幼稚園の教育活動をあたたかく見守り、たくさんのご協力をいただきましたことに感謝いたします。ありがとうございました。

先週の金曜日、麻布幼稚園は開園85周年を迎えました。当日は、全園児が集まって、“麻布幼稚園の誕生日”をお祝いしました。毎月幼稚園で行う子どもたちの誕生会の年長組・年中組の会では、パネルシアターの台の上に作った大きなケーキの上に、フェルトで作った季節の果物を誕生児に飾ってもらっています。11月の誕生会は、リンゴを飾ってお祝いしました。子どもたちの誕生会と同じように、麻布幼稚園85歳の誕生会でも、フェルトの大きなケーキにリンゴを飾ることにしました。85という数の大きさを子どもたちなりにイメージできるように、色画用紙で作った85個のリンゴを用意し、子どもたちと数えながら飾りました。ケーキを埋め尽くすたくさんのリンゴを見て、85歳の年の大きさ、85年の長さを子どもたちなりに感じている様子でした。会の中で、『たんじょうび おめでとう！(マーガレット・ワイズ・ブラウン作/レナード・ワイスガード絵/こみやゆう訳)』の絵本の読み聞かせをしました。いろいろな虫や動物たちが誕生日にそれぞれが1番欲しいものをプレゼントしてもらおうという物語です。ハチは花の蜜を、リスはドングリを、ウサギはニンジンをプレゼントしてもらいました。絵本を読んだ後、麻布幼稚園が一番うれしいプレゼントはどのようなことか、子どもたちと一緒に考えてみました。「幼稚園をきれいに掃除すること」「幼稚園のお部屋を大事に使うこと」など、自分たちにできることや、してもらおうと思う素敵な考えを子どもたちから聞くことができました。私からは、「子どもたちが毎日元気に麻布幼稚園に来て、楽しくたくさん遊ぶことも麻布幼稚園がうれしいと思うこと」という話をしました。85周年を迎えた麻布幼稚園、これからも子どもたちが元気に過ごし大きく成長していける場であるよう力を尽くしてまいります。麻布幼稚園85歳の誕生会の様子は、麻布幼稚園のホームページをご覧ください。

さて、今日から作品展が始まりました。プレイルームには、年長組の子どもたちが学級のみならず協力して作った“きくぐみ どうぶつえん”の世界が広がっています。上野動物園への遠足での共通体験を生かし、グループの友達と相談しアイデアを出し合いながら作りました。作品展前日には、麻布小学校の5年生を招待して動物園をプレオープンし、交流活動を楽しみました。年中組は、増築棟の1階部分を広く使って、日常の園生活の中で経験したことや、芋ほり遠足や上野動物園への遠足での体験を表現した作品をたくさん飾りました。年少組は、保育室と廊下の壁面に、きのこや柿の実、ドングリなど、季節感のある作品を飾りました。また、筆でのびのびと描いた自分の顔は、それぞれの良さが表れていて素敵な作品になりました。

作品展では、お子さんの学級だけではなく3年間の園児の成長をご覧いただきたいと思い、運動会同様、全学年の取組みの様子や作品についてまとめた特集号を作成しました。よくお読みいただき、作品の背景にある子どもたちの思いを感じ、取組みの様子を思い浮かべながら作品をご鑑賞ください。作品展がそれぞれの学年の子どもたちの成長を実感していただく機会となれば幸いです。作品展に向けての取組みの様子及び日常の園生活の様子については、12月下旬から放送される予定の港区広報トピックスでもご覧いただけます。

いよいよ来週から12月です。2学期のまとめの時期に入ります。

12月の麻布幼稚園も、どうぞよろしく願いいたします。